

命を守り 丈夫な体と 人間らしい感性を育てる



なでしこ保育園  
第二なでしこ保育園  
第三なでしこ保育園

<https://kodomo.ed.jp/>



「どんな子どもを育てていくのか」。

時代の移り変わりの中で育つ子どもたちの姿、その背景にある保護者の様子を見ながら、日々子どもたちとかわる保育の現場は、社会の中で非常に重要な役割を託されています。「今の保育で良いのか」を常に考え、確認しながら、これまで保育に携わってまいりました。

乳幼児期は「感性」の土台作りとして大切な時間です。身体感覚も欲求や感情も、すべての感性は、幼い時から子どもが大切にされ、おとなとの応答的な相互作用を幾重にも積み重ねる中で育まれます。感性は将来、その子の人間らしい感性、すなわち「人間性」になります。

私たちは、子どもの持っている力を伸ばすためには、特定の人との愛着関係の上に「他者を、自分を信じる心」を育てなくてはならないと肌で感じています。それは現在の保育園に課せられた使命の一つ、といっても過言ではないかもしれません。

なでしこ保育園では、0・1・2歳児（未満児）クラスの保育を「かわいがり保育」、年少・年中・年長（以上児）クラスの保育を「よりそい保育」と呼んでいます。

「かわいがり保育」では、一人一人の子どもに1対1で向き合い、甘えを受容し、自己主張を認めます。これによって、自分の存在を確認し、自分を受け入れてくれる人がいるという安心感から「他者を信じる心」が育まれると信じています。

「よりそい保育」では、子どもの好奇心と挑戦を尊重し、おとなの共感的な支援と励ましを数多く積み重ねることを繰り返します。これによって、挫折や不満、悔しさを抱えながらもそれを乗り越えることのできる「自分を信じる心」が育まれるものと信じています。

社会福祉法人なでしこ会 理事長 門倉文子  
『よりそい保育／はじめに』より抜粋

わたくしたちの法人内には3つの保育園とひとつの家庭保育室、ふたつの地域子育て支援拠点（利用者支援含む）、放課後等サービス事業所、保育研究所があります。未長くお付き合いできるご縁をいただければ嬉しく思います。

社会福祉法人なでしこ会 理事長 門倉文子  
代表 (048) 521-5698

なでしこ保育園  
園長 門倉文子

〒360-0803  
熊谷市柿沼 921-9  
☎ 048-521-5698  
FAX 048-524-0822

第二なでしこ保育園  
園長 大谷光代

〒360-0803  
熊谷市柿沼 955-2  
☎ 048-525-3761  
FAX 048-524-7811

第三なでしこ保育園  
園長 高田美華

〒360-0813  
熊谷市 円光 2-10-10  
☎ 048-520-6112  
FAX 048-526-6720

### 【社会福祉法人なでしこ会 沿革】

- 昭和39年 4月 なでしこ保育園開園  
12月 社会福祉法人なでしこ会設立認可
- 昭和40年 1月 定員60名として認可
- 昭和44年 4月 定員90名に増員
- 昭和50年 9月 定員120名に増員
- 昭和54年 4月 第二なでしこ保育園開園（定員120名）
- 平成 2年 4月 なでしこ保育園改築
- 平成10年 4月 第三なでしこ保育園開園（定員60名）  
（一時預かり室・子育て支援センターすずかけ併設）
- 平成14年 4月 第二なでしこ保育園 定員150名に増員
- 平成21年 4月 なでしこ保育園定員増に伴う増築園舎竣工  
（なでしこ文庫・子育て支援センターパーシモン併設）  
なでしこ保育園 定員150名に増員
- 平成24年12月 NPO 法人なでしこ保育研究所設立
- 平成26年 1月 なでしこ保育園開園50周年記念式典開催
- 平成27年12月 なでしこ家庭保育室「わらべ」開室  
12月 社会福祉法人なでしこ会 評議員会設置
- 平成29年10月 第三なでしこ保育園子育て支援センターすずかけ内に  
利用者支援事業「すずかけ相談室b(ふらっと)」開設
- 平成30年 3月 (株)大修館書店より「保育ハンドブック全3巻」上梓
- 平成30年 7月 放課後等ディサービス「なでしこ」開所

**【園別年齢別利用人数内訳となでしこ独自の進級システム】**

どちらの園へ入園されても保育内容は同じ。行事も全園で行うことが主です。

図書館併設。  
なでしこの中心的機能の園

**なでしこ保育園**

クラス	定員150
0歳児	18
1歳児	24
2歳児	32
年少	38
年中	38

第二へ異動

どこの園へ入園しても最後は  
ここで過ごします

**第二なでしこ保育園**

クラス	定員150
0歳児	6
1歳児	8
2歳児	12
年少	15
年中	34
年長	75

〈全員揃って第二を卒園〉

小さい子中心の家庭的な園

**第三なでしこ保育園**

クラス	定員60
0歳児	8
1歳児	16
2歳児	18
年少	18

第二へ異動



**第二なでしこ保育園**

令和6年4月に移転し幼保連携型認定こども園として開園予定です



## なでしこ保育園 保育の方針

命を守り丈夫な体と人間らしい感性を育む

1. 安全に注意し食事・睡眠・清潔等、一人一人に即した養護を応答的に行うことで健やかな心と体を育み、命を守る基本とする
2. 甘えを十分受け止め、保育士との肌の触れ合いや応答的な関わりを通して情緒の安定をはかる（甘えなしに自立なし）
3. 乳児期からの保育の積み重ねにより育まれた基本的信頼感をもとに、非認知的な力が十分育つよう、子どもの自己選択を促していく
4. 言葉の獲得や運動機能等、子どもの発達過程には臨界期があるので発達に見合った活動ができる機会を増やす
5. 乳児期からの関わりによって育まれた基本的信頼感を土台に、身辺自立を通して意欲や自主性を伸ばし自信を持って行動できるようにする
6. 年齢や発達に見合った絵本を選び、読み聞かせを十分行う中で、想像力や生きる力を育てる
7. 思いを言葉で表現し、相手の言葉を聞こうとする気持ちを育てる
8. 規範能力や思考力の育つ時期なので、話を聞いて物事の良し悪しを判断し、自分で考えて行動できるようにする
9. 友達との関わりや遊び、行事などを通して楽しい経験をたくさんし、仲間とともに過ごす楽しさを味わい、人への信頼感や思いやりを育てる
10. 人には違いがあることを知り、障がいのある子への理解を深める。また色々な人と関わりながら、自分が人の役に立つことに喜びを感じられる感性を育む

## 育てたい子どもの姿

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 思いやりのある子    | 4 話を聞ける子        |
| 2 みんなと仲良く遊べる子 | 5 自分の気持ちを伝えられる子 |
| 3 意欲のある子      | 6 考えて行動できる子     |

## なでしこの0・1・2歳児クラスの保育 「かわいがり保育」

### 「受容」からすべてが始まります

生まれ落ちた瞬間から、特定の大人が関心を持ち関わることで、その子の将来の育ちを未広がり展開していく小さな芽となります。保育所保育においても同様に、一人一人の「気持ちを受け止める」ことこそ、子どもとの関係性の出発点だと思います。私たちの行っている0～2歳児の「かわいがり保育」は「受容」からすべてが始まります。

### 「甘えさせること」は 成長の大切な栄養素

保育所は集団保育ですが、私たちの保育の基本は「1対1」にあると考えています。特に、0～2歳児の時期に気持ちをしっかり「受け止め」「甘えさせる」ことの大切さは、時に誤解を生むこともあります。多くの大人が今、もう一度考え直さねばならないことではないかと思っています。

甘えさせることは、子どもをダメになどしません。それどころか、小さい頃に甘えを受け止めてもらえなかったことの方が、その後の育ちに大きな影を落とすことになりかねません。大人に優しく抱っこされ「人は優しいもの」と感じ、自分の発したこと、要求したことに応じてもらうと、赤ちゃんは人を信じていることができるようになります。そして自分は大切な存在である、と感じられるようになります。子どもの理にかなわない言い分を受け入れることに対して、おとなは「甘えている」「甘えはよくない」という印象を受けるのかもしれませんが、子どもはその理にかなわないことを「何としても聞いてほしい」のでしょうか。もしかしたらそれは「こっちを向いてほしい」と言っているのではないのでしょうか。

甘えられて自分をさらけ出せるおとなが保護者以外に存在すること。それが保育所の0～2歳児保育の意義であると、痛切に感じています。

#### ①0歳児の姿

0歳児は全員が新入園児、初めての保育園であることが多いので、親子ともに不安を感じていますが、愛着関係がしっかり築けると、子どもの表情がやわらぎ、なんとも安らいだ顔つきになってきます。素直に甘えたり、自分の思ったまま感じたままを思い切り出してできるようになります。担当保育士にしか見せない表情、笑顔や甘え、後追い、日々の成長……。担当ならではの特権（まるで母親のような！）がたくさんあるのが0歳児です。

#### ②大切にしたいかかわり・配慮

担当保育士が1対1で愛情をたっぷり注ぎながら継続的にかかわり、愛着関係をしっかり築いていきます。全面受容を心がけ、担当制のもと、

特定の保育士が日々かかわる中で、子ども自身も保育士のことを信頼し安心して甘えたり、感情豊かに表現するようになり、人とかかわる喜びや楽しさを味わえるようになってきます。

私たちは、愛着関係を築くために何よりも、肌と肌の触れ合い（スキンシップ）を大切にしています。おんぶや抱っこで肌と肌をくっつけ、快・不快を表現している時にすぐに応えてあげることで愛着関係の土台を築いていきます。保育士が表情豊かに接することも心がけています。

0歳児の保育では、子どもの発育発達の道筋を理解し、一人一人の発達をしっかりつかむことが不可欠です。そのうえで、その月齢に必要な経験が抜けないう、担当者を中心に成長への仲立ちをしていきます。発育に心配な子がいる場合は、その子の発育の既往歴を把握し、そのことについて保護者がどう考えているのかを知り、支えていくという気持ちでかかわりましょう。

子どもと応答的にかかわり、愛着関係のもとで心の響きあいを積み重ねていくうちに、目の前の子どもがかわいくてかわいくて、しかたなくなる。  
そんな0・1・2歳児クラスの保育を、私たちは「かわいがり保育」と名付けました。

### ① 1歳児の姿

1歳児は、活発に体を動かして盛んに探索活動を行う時期です。いろいろな物への興味関心が出てきて、新しい物を発見し、その感動したことを必死に伝えようとします。そして、伝えた相手から、共感してもらったり、認めてもらう過程でまた、表現する喜びが育まれていきます。特定のおとな（母親や保育士等）との愛着関係を基盤に、まわりの人たちとあたたかい交流を通じて自我がめばえ、自己主張するようになります。子どもたちは「イヤ」「ダメ」を連発し、おとなからの働きかけを拒み、「ひとりで!」「じぶんで!」と挑戦を始めます。

### ②大切にしたいかかわり・配慮

この時期に私たちが大切にしているのは、依存と自立の葛藤が始まった子どもの甘えを受容しつつ、自立心を認め、「じぶんで!」と主張した時は見守りながらさりげなく援助して満足感を味わわせたり、自分で選べる環境を作るなどの配慮です。また、言葉づかいは不十分ながらも、言葉でのやりとりが楽しくなるので、子どもの伝えたい思いをしっかりと聞き、身振りによる表現を受け止めるなどしてコミュニケーションをとっていきます。うまくコミュニケーションがとれない子どもには、担当制を取り入れながら、まずは特定の保育士が子ども一人一人と深くかかわり、「自分は大切にされている」という安心感がもてるように、また、「人と一緒にいるって楽しいなあ」という気持ちがめばえるかかわりを心がけます。

### ① 2歳児の姿

自立へのスタートでもある2歳児は「ヤダ!」「自分で!!」といろいろな場面で自己主張し、思い通りにならないと怒ったり、できないことでも「自分でやりたい!」と主張します。ですが、その反面、まだまだ「抱っこして」「できないからやって」など、日によってできなくなったり、かかわるおとなを困らせたりすることもしばしばです。また、自分の気持ちを言葉で表現できるようになり、相手の気持ちもわかるようになるので、友だちと遊ぶことに興味が出てきます。簡単な規則やルールもわかり始め、集団の中で社会性を身につけていく年齢でもあります。しかし、自分の思いがうまく伝えられずトラブルになる、手が出てしまうなどの姿も見られます。

### ②大切にしたいかかわり・配慮

2歳児に対しては、子どもたちの「自分でやろうとする意欲」を受容して見守りながら、できないところを手助けします。「自分でできた」という達成感や満足感を味わわせ、次のやる気につなげたり、子どもの甘えをしっかりと受け止めて「自分は大切にされている」という安心感をもたせていきます。子どもの自己肯定感を育む、というかかわりかたや言葉かけを大切にします。  
また、子どもたちの言葉をしっかりと聞き、気持ちをくみ取りながら、ゆとりをもったかかわり方をすることで、集団で決まりごとや約束ごと、良いこと・悪いことの区別をしっかりと教えていくことが必要な年齢なので、繰り返していいに教えていきたいと思います。

## なでしこの年少・年中・年長児クラスの保育 「よりそい保育」

### かわいがりからよりそいへ

0～2歳児クラスの「かわいがり保育」においては、子ども一人一人をじっくり知り、かかわることを大切にします。ですので、クラスや集団ということはひとまず蚊帳の外において考えます。

ところが年少になると、年相応の発達として「集団の中の一人として行動できる子ども」という視点が登場します。さらに年少以上は「クラス単位での成長」も、一つのものさしとして持つようになります。もちろん、子ども一人一人の成長は今まで通り大切な指標ですが、そこに集団として「この年齢児クラスはここまでがんばろう」という、クラスとしての目標が加わってきます。

#### ①3歳児の姿

3歳児は、身のまわりのことを自分でやってみようとする姿が増え、依存から自立へ移行する時期です。基本的な運動能力が発達し自分の体の動きをコントロールできるようになります。あいさつや生活に必要な言葉を使うようになり、知的好奇心も強くなります。なぜ？どうして？といった質問が多くなり、身近な人との言葉を使ったやりとりも上手になります。まだ平行遊びも見られますが、友だちとごっこ遊びを楽しめるようになってきます。自分の思いを通そうとするあまり、トラブルが増えますが決まりを守ろうとしたり、がまんしようとする姿も見られるようになります。

#### ②大切にしたいかかわり・配慮

3歳児とかかわるうえで、大切にしたいのは、何でも手伝ってあげるのではなく、子どもの「やってみよう」という気持ちをあたたかく見守り、やり方のコツを教えたり、そっと手伝ったりなどして、「じぶんでできた！」という達成感を感じられるようにすることです。そして、次への意欲につなげていけるよう、子どもの思いに共感し、ほめ、ていねいにかかわっていくことを心がけます。また、自分で考えられるようにすることも大切です。先取りしてしまうのではなく、子ども自身が考えられるような言葉かけをするようにします。

#### ①4歳児の姿

4歳児は、社会性が身についたり身辺自立がほぼ確立して協調性が育ってくるようになります。自分の体をコントロールできるようになり、全身のバランスをとること、自分の意のままに体を動かすこともできるようになります。さらに、左右の協応運動が巧みになり、異なる2種以上の動きを同時にとれるようになります。自意識がめばえ、自分がどう見られているかを意識するようになります。人の気持ちを気にするようになります。友だちと一緒にいることを喜び、仲間とのつながりが深まる中で、けんかも多くなりますが、少しずつ気持ちを抑えることやがまん、草履も経験します。想像力ができて自分なりの目的をもって

作ったり描いたりすること、友だちとイメージを共有してごっこ遊びを楽しめるようにもなります。

#### ②大切にしたいかかわり・配慮

4歳児とかかわるうえで大切にしていることは、成長過程や姿を踏まえ、子どもたちとの信頼関係を築き、子どもたちが安心して生活できるようにしていくことです。そして、自分の気持ちを言葉で表現できるように、子どもによりそい共感していくことが大切です。また、保育士が工夫をして子どもが「おもしろい」と思えるきっかけ作りをし、子どもたちが主体的に活動に参加し、成功体験を積み重ねることで自信や意欲につなげていくようにします。

子どもの気持ちに共感することを基本に、子ども一人一人の状況に合わせて必要なサポートをし、主体的に考え行動できるようによりそっていく。

そんな年少・年中・年長児クラスの保育を、私たちは「よりそい保育」と名付けました。

### ①5歳児の姿

5歳児は、何事にも意欲的に取り組む姿勢が目立ち、能力的にも大きく育つ頃です。運動機能はますます発達し、仲間との活発な運動遊びを楽しみます。役割分担のもとでの共同遊びやごっこ遊びも大好きです。同じ目的・目標に向かって、集団で行動することを経験する中で、仲間の一人としての自覚や仲間を大切にする気持ちも育ってきます。けんかもしばしばありますが、その解決は自分たちで行おうとします。決まり（ルール）を守って遊べるようになりますが、口げんか等のトラブルも生じます。また、良いこと悪いことを自分で考え、判断する力が芽生えてきます。自分たちで解決しようとする姿も見られますが、保育士の仲立ちが必要な場面もあります。お手伝いやお当番など他人の役に立つことを喜ぶ姿も、はつき

りと見られます。自分の思いや考えもうまく伝えられ、他人の言うことを聞く力もだんだん身につけてきます。何でも知りたいという知識欲も旺盛になります。

### ②大切にしたいかかわり・配慮

5歳児とかがわるうえで大切にしていることは、こうした発達(育ち)が目立ってくるものの、個人差もあるので一人一人の発達の過程をしっかり把握し、その時々的心情や行動などを受け止め、適切な声かけや援助をすることです。また、自分で考えて行動できる機会を増やし、自主性を育てる環境作りも大切です。そして子どものがんばりや良いところを認め、たくさんほめて次の意欲につなげるようにしています。

### ①6歳児の姿

6歳児は、思考力や認識力が豊かになり、文字や社会事象などへの関心が深まり集団の中で生活していく人間としての土台、自己肯定感が育つ時期です。運動機能が高まり、全身運動が滑らかで巧みになり、跳び箱や鉄棒、竹馬などを使った複雑な運動も意欲的に取り組むようになります。また、手指の操作も器用になり、編み物、こま回しなど、より細かい作業もできるようになったり、えんぴつや筆、箸などを3点支持で扱えるようになります。今までの体験から自信や予想、見通しをもつ力が育ち、自立心が高まり心身ともにエネルギーにあふれ、積極的に行動するようになります。仲間意識が強くなり、自分たちだけの秘密を共有したり、相手を思いやる気持ちも育ちます。また互いに自己主張をがまんしたり意見を調整し

て折り合いをつけていくことができるようになります。文字や数字、記号などにも興味関心を持ち、時間の概念が育ってきます。また、語彙が豊かになり意思の疎通が問題なくはかれるようになってきます。

### ②大切にしたいかかわり・配慮

6歳児とかがわるうえで大切にしていることは、小学生や地域の人とのかかわりを通し、社会への興味関心を広げられるように工夫をすることです。また、就学に向けて期待感に胸を膨らませている子どもたちが小学校生活へスムーズに移行できるように、小学校の情報を子どもたちや保護者に伝えるなど、家庭と連携しながら日々いいにかかわっています。

## 【保育内容】

入園すると親から離れて園で長時間生活することになりますので、一人一人の気持ちを大切に不安な気持ちを受け止め、心の安定を図ることを第一に考え安心して楽しい園生活を過ごせるよう心がけています。乳幼児期の心の安定が人間として社会生活を送る為の土台となると考えています。

### 『安全保育』

命を守るという使命をまず第一に考え、園舎内外の安全管理については十分注意を払っています。しかし子どもは発達に伴い活動も活発になるので、まったく危険のない生活を保障するのは難しいことです。職員全員で力を合わせ、事故やケガが最小限になるよう心がけていますが防げない事故やケガもあります事をご理解下さい。

### 『健康管理』

- ① 内科健診（年2回）、歯科健診、検尿を行っています。
- ② 身体測定、視力検査、歯磨き指導など年齢に合わせて看護師が行っています。
- ③ 各園の看護師が園全体の健康・衛生管理の担当として、園医と連携をとりながら活動しています。
- ④ 病児保育は行っておりません。病後は、本人の健康状態を優先に考えて担任や看護師と連携をとりながら保育しています。
- ⑤ お昼寝  
0～年少児は年間を通して、年中児は前期（9月）までお昼寝をします。年長児は年間を通しお昼寝はしませんが、一人一人の様子にあわせ長時間保育の中で体を休める時間を設けています。

### 『給食』

乳幼児期の食事は子どもにとって楽しみでもあり、咀嚼等を身に付ける大切な時期でもあります。また何といっても食生活は身体づくりの基礎ですので、食育には重きを置き保育を進めています。昼食とおやつは手作りで豊富なメニューが用意できるよう管理栄養士を中心に担当者で検討し毎月献立を作成し家庭へも配布しています。  
<0～1歳児>

完全給食ですが、家庭と歩みを合わせながら一人一人の状況を鑑み、ミルク・離乳食を用意し普通食へと移行していきます。おやつは午前と午後の2回用意します。

<2歳児>

完全給食で、おやつは午前と午後の2回用意します。

<年少・年中・年長児>

完全給食で、おやつは午後1回用意します。給食費を  
集金いたします(月額主食費 2,000円、副食費 4,500円)

### 『絵本と保育』

～「読み合い」から「読み聞かせ」へ～

活動や気持ちを切り替える時、園では絵本を多く使っています。絵本を使ってコミュニケーションを取り合う「読み合い」の経験を積み重ねていくと、子どもたちは大人に絵本を「読み聞かせ」てくれるようになります。なでしこ保育園パーシモンには「なでしこ文庫」があり、6月～2月の間、園児への貸し出しを毎週火曜に年少以上のクラス役員さんに手伝ってもらいながら行っています。この他に家庭でも絵本を楽しんでいただく為に（株）福音館の月刊誌をご購読いただいています。なでしこの図書活動を通して、大好きな大人が読んでくれる絵本が子どもに与える力を感じていただけたら嬉しく思います。

\*なでしこ文庫開館時間

<月～金> 15:00～17:30 <土> 9:00～15:00

### 『遊び』

遊びは子どもの生活の大切な一部であり、学びの中心です。大人との応答的な関わりを十分受けることが、集団の中で十分楽しんで友達と遊べる力の基礎となります。満足するまで遊べる子どもにしたいと考えています。

☆0～2歳児

天気の良い日は戸外へ出て、砂・水遊びの経験をたくさんして、散歩を通して足腰を鍛え、しっかり歩けること・走れることができるようにしています。クラスには手作りの物をはじめ積み木やブロック等いつでも遊べるようにしてあります。

☆年少以上児

朝登園してからの時間を自由遊びの時間として、特に外遊びを中心に毎日活動を行っています。また室内でもじっくり遊べるよう玩具を充実させ、空いた時間は自分の興味のある遊びに取り組めるようにしています。

## 『規範能力の育成』

幼児期に物事の善悪を身につけさせることは、人間として大切なことです。生活や遊びの中でやってはいけないことを丁寧に教えていきたいと考えています。家庭でも特に心がけて頂きたいところです。

## 『生活習慣の自立』 《しつけ》

自分で何でもしたがる時期をとらえ、大人が手を添えて自分のことが自分でできるようにしていくのが上手なしつけです。子どもの発達に応じ、園と家庭との連絡を密にし少しずつ自立できるよう細かな支援をしていきます。

## 『体力づくり』

※教育費対象

《※保育時間内の外部講師による体操教室：年少～年長児》

身体づくりの基礎となる乳幼児期に身近な大人やお友達と楽しく体を動かし、転んだ時に咄嗟に手をつくことができる・危険な時にサッと避けることができる等「自分の身体を自分で守れる力」・「体幹や足腰をしっかりさせ、身体がふらつかない力」を身に付けていけるよう、基本となる6つの運動（ハイハイ、高這い、ぶらさがり、両足ジャンプ、かえるジャンプ、雑巾がけ）を日々の保育の中で取り組んでいます。取り組み始めてから体幹や足腰がしっかりし、転ぶことが少なくなりました。

園庭にあるブランコ、すべり台、鉄棒、うんてい、のぼり棒などの固定遊具の経験をはじめとし、散歩、駆け足、プール遊び、ボール遊び、縄跳び、マット運動、リズム運動等の活動を通して、がんばりのきく丈夫な身体を育みたいと考えています。

## 『表現活動』

※教育費対象

### ① 音楽リズム

幼児期は様々な感覚が分化し発達する時期です。乳児の頃から園生活の中でも音楽に合わせて身体を動かしたり、歌を歌うことを楽しんでいきます。特に耳の発達には4歳ですばらしく伸びると言われていますので、※4歳を迎える年少からは外部講師（杉山由美子先生）を招き、音楽と身体を連動させる表現などを楽しみます。また年中からは鍵盤ハーモニカに取り組んでいます。楽しみながら指使い等も覚え、簡単な曲が弾けるようになり、クラスで音を合わせる楽しみも味わっていきます。年長の和太鼓や生活発表会での表現発表は、友達と音を合わせることで生まれる感動を皆で共有することも目的のひとつと考えています。

### ② 造形活動

「感じたこと、考えたことを自分なりにイメージして、ダイナミックに表現することを楽しむ」ことを基本として0歳児から取り組んでいます。子どもが自分なりの世界を広げられるような「きっかけ」を保育士が作り、子どもたちが表現を楽しめるようにしていきます。

紙の上の2次元の世界に3次元の空間を感じて絵として表現できたり、頭の中の形を目の前の粘土で再現できたら、その子は言葉以外の言語を持つことに等しい力を持てるかもしれません。子どもの可能性を広げるために、どの年齢でも発達に応じた造形活動を行っていきます。

## 『お作法』 〈年中後半から〉

※教育費対象

日本人としての精神的なゆとりを養い、伝統文化に接する喜びを味わうことや、一対一の関係を大切にする中で、落ち着いて物事を理解したり、話をじっくり聴いて考えることができるようになることを目的としています。

作法の時間は、楽しく心地よいものと思えるように、月1回、園長宅の和室にお茶の先生をお呼びし、少人数で行っています。なでしこの大きな集団では見落としがちで、普段は大人の手を煩わせない子の小さな声を拾う場としても機能しています。

## 『もじ☆かずくらぶ』 〈年少から〉

※教育費対象

就学までの期間に子どもたちの学びに向かう心と頭を育む幼児教育プログラムを取り入れました。

これは文字の練習を無理にさせたり、小学校の算数を前倒して勉強させたりするプログラムではなく、年齢や月齢に合わせた楽しい内容でクラスみんなで「ことば遊び」や「かず遊び」を楽しみながら、少しずつ言葉を増やしたり、数や数字の楽しさを知ったり、ひらがなで書かれた言葉に興味をもったりする活動プログラムです。 (株)新学社

## 『メディアとの付き合い方』

家庭でのテレビ、ビデオ、スマホ、タブレット等の視聴は乳幼児期はなるべく短時間にしましょう。スマホはまだ歴史が浅いので、子どもの心身への影響は正確には出ていませんが、良い影響は少ないと現場では感じています。なでしこでは保育の中での上記メディアの視聴は一切ありません。クラスでの生活はもちろんのこと、延長保育もすべて保育士や友達との人間関係を通しての遊びと生活です。

## 【入所対象児】年齢 0歳児（生後8周）～未就学児

熊谷市福祉部保育課で保育認定（2号認定・3号認定）を受けたお子さんが入所できる児童福祉施設です。市外から希望される方は、お住いの市町村にご相談の上申請をしてください。

## 【保育時間】

保育標準時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	7:00～18:00	18:01～19:00（有料）	19時以降は第三へ移動し20時まで延長可能（*）
	第二なでしこ保育園			
	第三なでしこ保育園		18:01～20:00（有料）	
土曜日		7:00～16:00		3園合同保育

保育短時間認定		保育時間	延長保育時間	備考
平日	なでしこ保育園	8:00～17:00 のうちの8時間	1日の保育時間が8時間を超えると延長保育となります（有料）	19時以降は第三へ移動し20時まで延長可能（*）
	第二なでしこ保育園			
	第三なでしこ保育園			20時まで延長可能
土曜日		8:00～16:00		3園合同保育

保育時間は上記の表の通りです。入園後、保育時間を通勤時間＋勤務時間を基本に「保育時間申請書」を提出していただきます。入園当初は慣らし保育をしますので、状況の許す方は短縮保育で徐々に慣らしいきましょう。通常、正規の保育時間に子どもが慣れるまで1～2週間かけていきますが、保護者の勤務の都合上、入園当初から通常保育の必要な方は申し出てください。

## 【延長保育】

勤務の都合で8時間以内の保育では済まない方の為に延長保育をしますが、お子さんの体力によって難しい場合もありますので、個人的に話し合ってください。尚、延長保育料は18:01以降の分を園から集金させていただきます。金額に関してはお問い合わせください。

## 【園バス】

朝夕の登降園のための園バスの運行は令和3年度をもちまして終了いたしました。徒歩、自転車、自家用車による送迎となります。現在、送迎のための駐車場利用は無料です。

## 【休日・休園・土曜協力日・協力保育】

### (1) 休日・休園について

- ・日曜、祝日はお休みです
- ・12月29～1月3日は年末年始休みです
- ・日曜、祝日に行事を行った場合は翌日は振替休日になります
- ・入園式の日、在園児はお休みになります

### (2) 土曜日は協力日とさせていただきます

職員の勤務時間を調整する為、土曜保育の必要な方のみ保育いたします。保育希望の方は「土曜保育勤務証明書」を提

出していただきます。但し、秋祭り、造形展、保育参観、育児教室等、土曜日に必要に応じて親子での参加行事を行うこともあります。

(3) 職員の研修や休暇を確保する為、次の期間を協力保育期間として、仕事の都合で保育の必要な方のみ保育します。（日程は年度によって多少ずれがあります）  
《協力保育期間》

- ・7月下旬に5日程度
- ・8月中旬に10日程度
- ・12月25日～28日
- ・1月4日～7日
- ・3月末～4月入園式前日迄

## 【年間行事予定】

- 4月 入園式、年長園外保育
  - 5月 参観日（懇談会・保護者会総会）、歯科健診、年長相撲大会
  - 6月 保護者会講演会、内科健診
  - 7月 年長お泊り保育、年中年小保育参観
  - 8月 七夕祭り、年長保育参観、二十歳の同窓会
  - 9月 運動会（10月の場合もあり）
  - 10月 入園説明会、0～2歳親子ふれあい教室
  - 11月 秋祭り
  - 12月 年長クラス発表会、クリスマス会
  - 1月 1年生同窓会、年中・長 遊ぼう会、6年生同窓会
  - 2月 節分、造形展、年 卒園遠足、観劇、保育参観・大掃除（第一・第三）
  - 3月 お別れ会、演奏会（専門家による歌や楽器のコンサート）、保育参観・大掃除（第二）、卒園式
- ※お作法：年長毎月1回（年中は11月～開始）、図書貸し出し：毎週火曜日（6月～2月）

一年に一度「一日保育士体験」に参加していただきます。  
 ☆ひとクラス一日ひとり枠  
 ☆朝9時～夕方4時まで  
 ☆保育士補助として子どもと過ごす

※コロナ等の影響により行事が変更になる場合があります

### 【集金（口座振替）】

個別に集金しているものは概ね以下の通りです

- ・保護者会費      ・月刊絵本代
- ・主食費、副食費（年少以上）・教育費（年少以上）
- ・その他（遠足代等、状況に応じて集金）

#### ～教育費って？～

年少以上になると、保育士では補いきれない専門性を外部講師の先生方にお手伝いいただいています。その外部講師料と材料費、備品維持管理費等を徴収させていただいています。

年少：750円 / 月

年中・年長：1,250円 / 月      ※実施状況により金額を変更する場合があります

#### ～保護者会から後援会へ～

保護者による3園合同の保護者会を設置し様々にご支援をいただいております。そんな保護者の皆様も卒園と同時にさよならではなく、希望の方は後援会という組織で引き続きご支援をいただいております。

保育園は子どもだけが楽しむ場所ではありません。お父さん、お母さんの一生の友との出会いの場でもあると考えています。

#### ～オリジナル体操服～



年少以上児さんに購入していただけます。体操指導の日はもちろん、日常的にも使っていただけます。

#### ～卒園してもなでしこの子～

1年生は毎年1月の土曜日に保育士（元担任）と楽しい時間を過ごします。

6年生も1月又は2月の土曜日に同窓会を行います。そこで皆で持ち寄った者でタイムカプセルを作り、二十歳の同窓会で開けます。

担任たちも大きく成長した卒園児たちに見える同窓会を何より楽しみにしています。



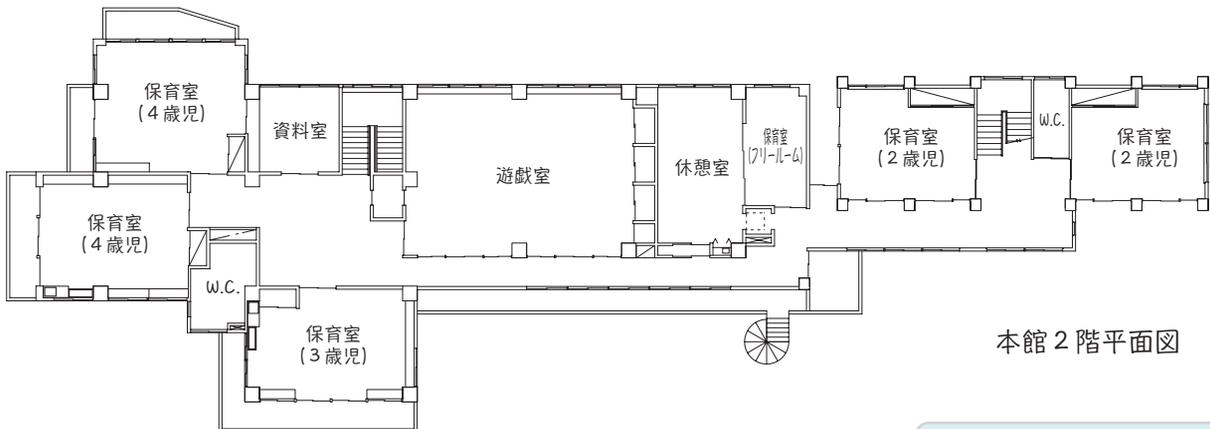
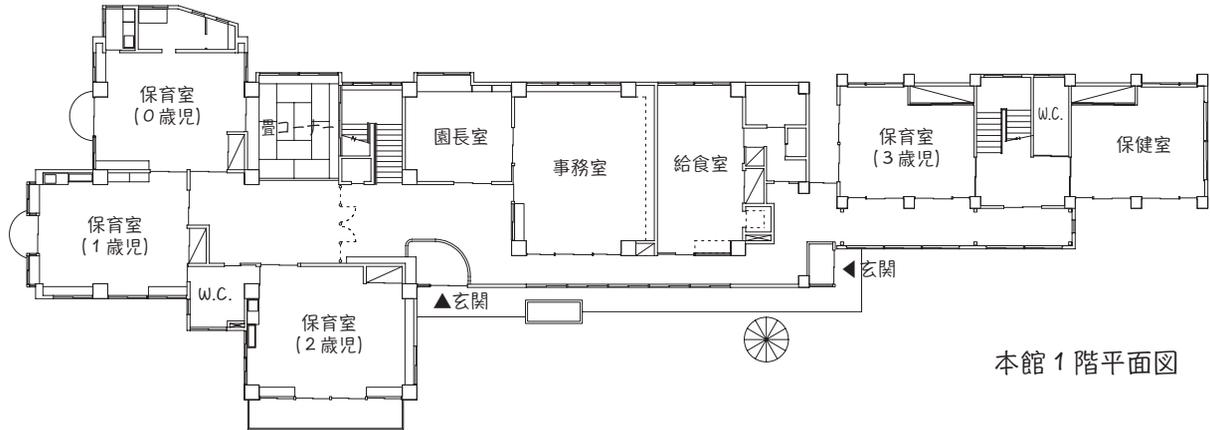
なでしこ文庫



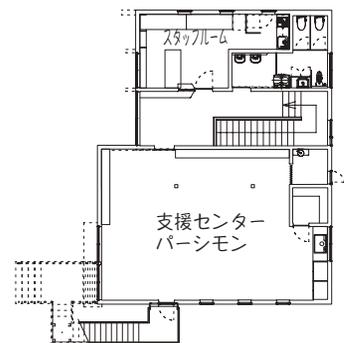
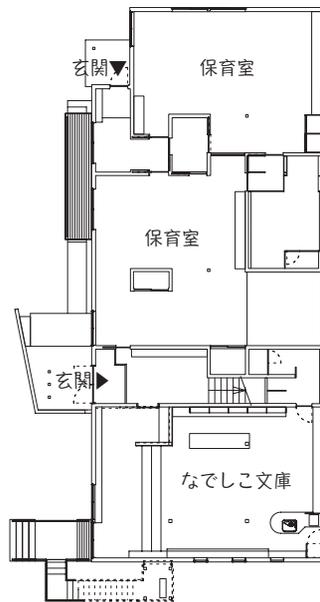
母の友

(注意) 3園それぞれの平面図は同じスケールではないので、違う園の部屋の大きさを図面上で比べることはできません

# なでしこ保育園



〈基本 DATA〉  
 定員：150名  
 敷地面積：2,328.46 m<sup>2</sup>  
 のべ床面積：本館合計 1075.50 m<sup>2</sup>  
 パーシモン合計 414.05 m<sup>2</sup>  
 事業内容：保育所  
 地域子育て支援拠点  
 放課後等ディサービス

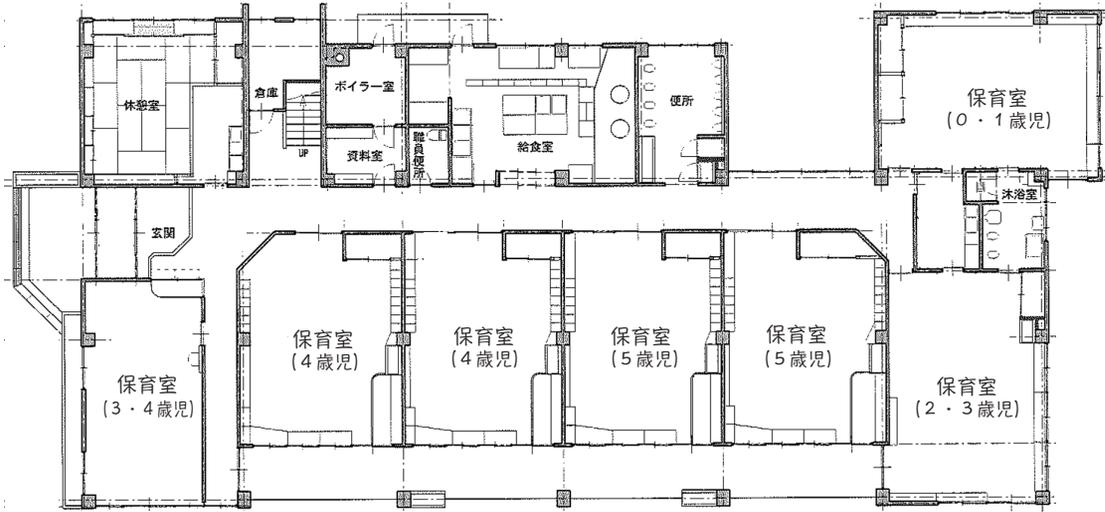


パーシモン1階平面図

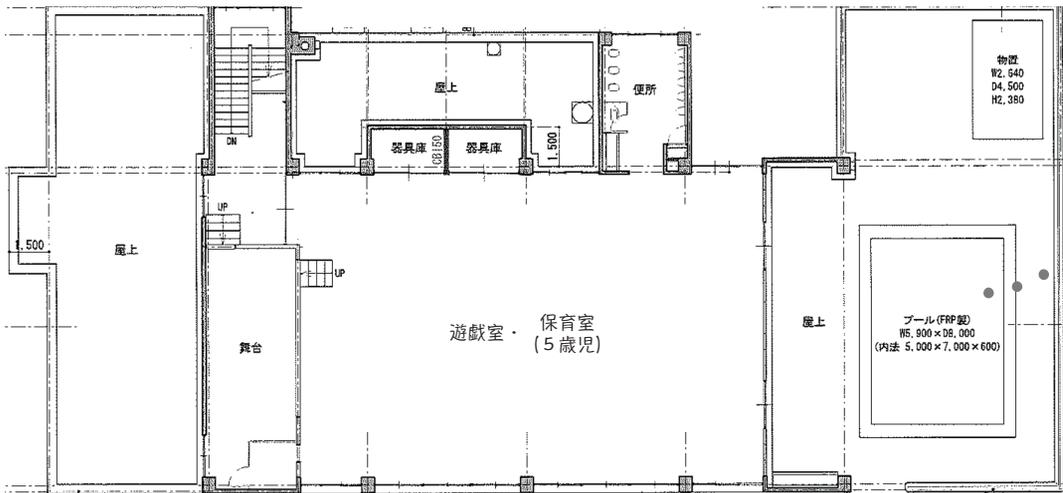
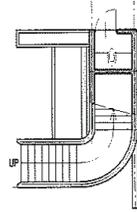
パーシモン2階平面図

(注意) 3園それぞれの平面図は同じスケールではないので、違う園の部屋の大きさを図面上で比べることはできません

## 第二なでしこ保育園 令和6年4月移転予定



1階平面図

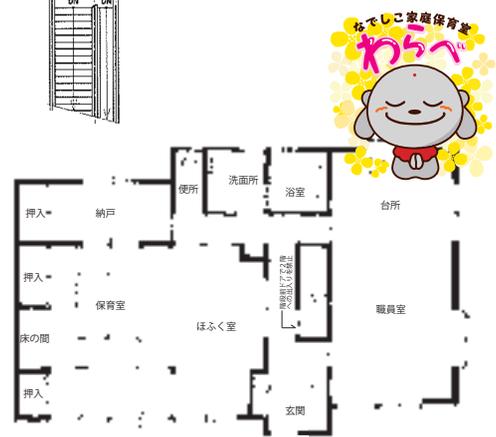


2階平面図



(基本 DATA)  
 定員：150名  
 敷地面積：2854.64 m<sup>2</sup>  
 のべ床面積：870.30 m<sup>2</sup>  
 事業内容：保育所

(わらべ基本 DATA)  
 定員：5名  
 対象年齢：0歳～2歳  
 ※第二なでしこから徒歩1分



家庭保育室わらべ平面図

第二なでしこ保育園が連携施設となっています

(注意) 3 園それぞれの平面図は同じスケールではないので、違う園の部屋の大きさを図面上で比べることはできません

## 第三なでしこ保育園

(基本 DATA)

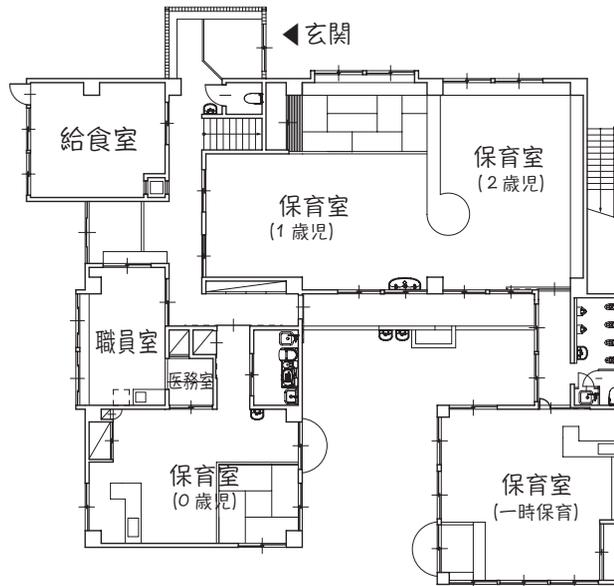
定員：60 名

敷地面積：511.52 m<sup>2</sup>

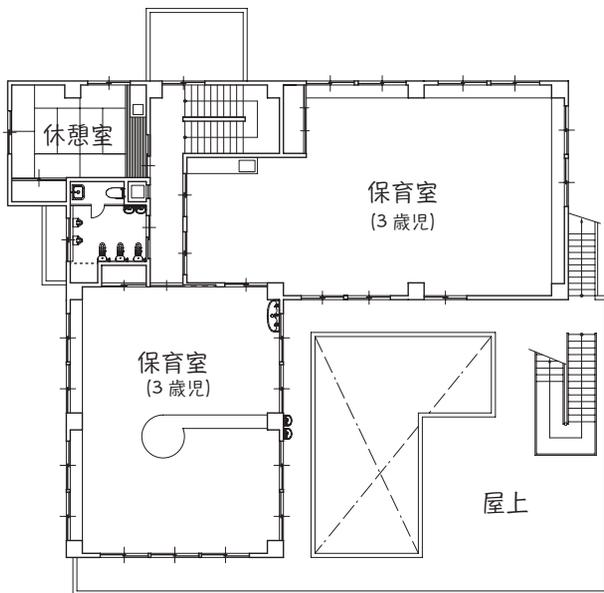
のべ床面積：727.22 m<sup>2</sup>

北運動場面積：796.30 m<sup>2</sup>

事業内容：保育所・一時預かり保育  
地域子育て支援拠点  
利用者支援事業



1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図



裏の運動場は道路を挟んだ北側です



## 目次

- 1      ご挨拶
- 2      所在地
- 3      沿革
- 4      なでしこ独自の進級システムについて
- 5・6   《かわいがり保育》子どもの姿・大切にしたい関わりと配慮（0～2歳児）
- 7・8   《よりそい保育》子どもの姿・大切にしたい関わりと配慮（3～6歳児）
- 9～12  保育内容について（保育時間・休日休園・年間行事予定・集金ほか）
- 13     なでしこ保育園  平面図・基本データ
- 14     第二なでしこ保育園  平面図・基本データ
- 15     第三なでしこ保育園  平面図・基本データ